



# 学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

平成29年10月19日

<10月号>

みんなで学校・地域の誇り(プライド)を高めましょう

～ ふるさと学発表会 10月21日(土曜日) ～

校長 高橋 喜一郎

10月21日(土曜日)の文化祭の午前、「ふるさと学発表会」を開催します。子どもたち



は、「鬼太鼓」,「能楽」,「夢・志にかかわる学習」の成果の発表に向けてがんばっています。

1～4年生は、6つの地域ごとに指導者から鬼太鼓を教えてもらうとともに、各地域の見所紹介の準備や衣装づくり等に取り組み、自分の地域の鬼太鼓への愛着を深めています。4・5年生は、齋藤美千枝先生から謡、仕舞の稽古をつけてもらいながら、子ども同士

でも教え合っています。また、演目のストーリーや佐渡での能楽の歴史調べなどにも取り組み、伝統を引き継ぐ意味や価値を感じてきているようです。6年生は、立志に向けて取り組んできた、キッズニアでの職業体験、家庭での仕事インタビュー、夢・志講演会、保護者や大学生による「ようこそ先輩タイム」等の学びを振り返り整理しています。働く上で大切にすることなどをはっきりさせ、自分の夢や志についての発表に向けた工夫をしています。



さて、当校の経営理念の一つとして「**地域の発展に寄与し、地域の心のふるさと・誇りの象徴である学校**」を掲げています。「ふるさと学発表会」では、地域総掛かりで取り組んできたふるさと学の発表を通して、子どもだけでなく、**保護者、地域の方々、学校職員も含めみんなで、学校・地域の誇り(プライド)を確認し、さらに高めていきたい**と考えています。私たちみんなが、学校・地域に誇り(プライド)をもち自信を高めることが、地域をよりよくしていくエネルギーになります。そしてこのことが、子どもたちの自信となり、夢や志をしっかりとち、これからの変化の激しい社会を生き抜く力につながると考えています。

当日は、ぜひご来校いただき、みんなで誇り(プライド)を感じ合う一日になりますことを強く期待しています。よろしくお願ひします。